

福祉



この町ですこやかに

高齢者が過ごしやすい環境整備と健康づくりの推進。また障がい者の就労支援や社会活動への積極的な参加をうながす施策など、だれもが笑顔でいられる、心ある町づくりを目指しています。

介護予防

介護予防サービスのケアプラン作成や効果の評価などを行います

問題解決

高齢者に関するさまざまな相談を受け、必要なサービスへつなぎます



地域包括支援センター
社会福祉士
主任ケアマネージャー
保健師

権利擁護

金銭のトラブルや虐待などから高齢者の方々を守ります

後方支援

必要なサービスが提供されるためにケアマネージャーの指導などを行います

福祉の相談はこちら

鹿部町地域包括支援センター

鹿部町役場保健福祉課 地域包括支援係 (TEL:01372-7-5291)

鹿部町地域包括支援センターには社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師が配置されており、介護だけでなく医療、福祉、健康などの様々な相談の受付や情報提供を行い、地域に暮らす人々を様々な側面からサポートすることを主な役割としています。

町が行っている福祉プログラム



生活支援体制整備事業

地域のみんでサポート!

日常生活において支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支える事業です。生活支援コーディネーターが中心となり、住民ボランティアの力を借りて、簡単な大工仕事や草取りなどの生活支援を行っています。



救急カード

もしもの時の備えが大切

緊急時に必要な病歴や服薬などの情報をカードに記入して保管します。救急搬送時、救急隊からの質問に正確に答えることができない場合でも、この救急カードがあることで、搬送されている方の状況を把握することができ、スムーズな対応を図ることができます。



まる元らくらく運動教室

体を動かして介護予防

65歳以上の方を対象に概ね週1回実施している運動教室です。いつまでも健康でいられるよう、介護予防の一環として、健康運動指導士が頭と体を使った体操や足腰の筋力を鍛えるトレーニングなどを指導し、日常生活に必要な筋肉の維持や強化を行っています。



あったかサロン

笑顔が一番の健康法です!

高齢者の方などなたでも参加できる「つどいの場」です。和気あいあいとした雰囲気の中、楽しいゲームや、体操、お茶会などを行います。仲間と楽しい時間を過ごし、健康維持のための情報交換の場にもなっています。

町内にある主な福祉施設



渡島リハビリテーションセンター

多彩な施設を備えた渡島リハビリテーションセンターは、昭和51年(1976年)に社会福祉法人渡島福祉会の施設として設立されました。身体障害者療養施設、身体障害者更正施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービス、居宅介護支援、診療所があり、体育館やADL(日常生活動作訓練)施設なども備えた道南でも有数の福祉施設です。そして平成12年(2000年)にはデイサービスセンターの運営委託も受け、総合福祉センターとして町の福祉に貢献しています。



鹿部町老人デイサービスセンター

渡島リハビリテーションセンター内にある鹿部町老人デイサービスセンターは、ご自宅で生活しながら、通いで入浴、お食事、訓練やレクリエーションなど、各種サービスが受けられる施設です。利用者とその家族の方の精神的・体力的な負担を軽減するだけでなく、開放的な空間の中でさまざまな人とふれあい、楽しい時間を過ごすことができます。



農かふえpoppo(ぽっぽ)

お話を聞かせてください!

障がい者の方が町に暮らし、活躍する場を創出する

鹿部町保健福祉課 課長 佐藤 直美 さん

鹿部町の障がい福祉では、障がい者支援に関する基本の事業に加え、地域生活支援事業を行っています。地域生活支援事業を進めているのが、平成19年から運営を開始した「鹿部町地域活動支援センター・ぽっぽ」です。そのスタートは、障がいを持つお子さんの親御さんから、「鹿部町の中にも、障がいを持つ人でも参加できる場をつくってほしい」という声がかきかけました。「ぽっぽ」では、障がい者の方がお家で生活をしているだけでなく、社会参加をし、活動を通していろいろな人と関わりを持ってよう事業を展開しています。最終的には、障がい者の方々が暮らせる場、働く場を創出することを目標として活動を続けています。

そして、「ぽっぽ」の利用促進事業の新たなステップとして令和3年5月にオープンさせたのが「農かふえpoppo(ぽっぽ)」でした。事業を効果的に進めていくために、私たちと、「ぽっぽ」運営の委託先が常に連携し、協議を重ねています。農かふえpoppoでは、野菜やベーグル、魚介などを利用したスープ、スムージーなどを提供しています。利用者さんたちはお客様から注文を受けたものをトレイに移し、袋入れしてお渡しするなど、販売業務を担当。また、コーヒーを入れたり、洗い物や調理補助など、それぞれの障がいの特性に合わせた業務も行っていきます。やる気に溢れ、人と接することを楽しみながら働くその姿からは、とても生き生きとしている印象を受けます。この農かふえpoppoは、障がい者の方がこの鹿部町で就労し、生活する場を創出するための第一段階です。うまく軌道に乗せていき、安定した段階で新たな拠点を創出するなど、次のステップへと進んでいきたいと考えています。

鹿部町 コミュニティカフェ

ちょっとした集まりに



鹿部町地域福祉計画に定める「安心して暮らせるまち」の実現のため、みなさまの交流の場として「鹿部町コミュニティカフェ」を開設しています。だれでも自由に利用することができますので、みなさんのご利用をお待ちしています。

場所/①鹿部郵便局:月曜日-金曜日(9時~17時) ②宮浜児童館:月曜日-金曜日(10時~16時30分)



いつまでも健康で自分らしくあるために。

心身の健康を保つために、積極的に自然に触れたり、スポーツやウォーキングなどで体を動かすことはとても大切です。町内には雄大な自然を満喫できるスポットが数多く整備されています。いずれも四季折々の魅力がありますので、ぜひ訪れてみてください。



自然の中で楽しめるスポットがたくさんあります。

- パークゴルフ場
 - 鹿部公園
 - ひょうたん沼公園
- 仲間と汗を流そう! 川沿いをお散歩♪ ダイナミックな眺め!

しかバス運行中!!



令和3年に再編された路線バス鹿部駅は町内各所に停留所があり、運行ルートもさらに充実しました。通勤・通学のほか、運転免許や自家用車を持たない方の日頃の移動手段として活躍しています。

■鹿部駅線・222系統(料金一律:大人/100円・小児/50円) 役場経由で鹿部町内を巡回します。町内の移動はこちらが便利です。

■99・99A系統 南茅部を經由して函館駅まで運行します。

■鹿部海岸線223・225系統 海岸線を通して川汲・南茅部方面まで運行します。

■大沼公園・鹿部線210系統 大沼・新函館北斗駅を經由して函館駅まで運行します。

お問い合わせ/鹿部町役場企画振興課(TEL.01372-7-5297)